

11. アンケート調査をしてみよう

全体の流れ

準備 自由研究計画書の書き方について説明する（20分）

交流学习事例 自由研究計画書を提出し、クラス内で発表する（20分）

アンケートの項目を作る（45分）

アンケート用紙を作成する（宿題）

アンケートを回収し、集計する（45分）

結果についてのプレゼンテーションをする（45分）

テーマ	11. アンケート調査をしてレポートにまとめよう
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の設定したテーマに基づき調査計画を立てられる。 ・アンケート項目を作ることができる。 ・アンケートの結果を集計し、まとめることができる。 ・結果から自分なりの考察を行うことができる。
形態	非対面
教具・教材	PC
生徒が行う活動 参照プリント	<p>1) 準備</p> <p>①自由研究計画書の書き方を聞く。 ②自由研究計画書を作成する（個人またはグループで）。 ③クラス内で自由研究計画書を発表する。</p> <p>2) アンケートの作成と実施</p> <p>①アンケート項目を作成する。 ②アンケートの文を学習言語で作成し、チェックを受ける。 ③アンケートを清書し、相手校に送る。</p> <p>3) アンケートの集計とプレゼンテーション</p> <p>①相手校からアンケート（回答済）を受け取る。 ②結果を集計して、まとめる。 ③結果についてのプレゼンテーション資料（レジюмеやパワーポイント資料）を母語で作成する。 ④クラス内でプレゼンテーションをして、レポートにまとめる。 ⑤相手校に結果のまとめを送る。</p>
ポイント	アンケートは結果が集計しやすいように自由回答欄を少なめにし、選択式の項目を多くする。質問項目は10以内におさめたほうがよい。
バリエーション	結果に関するクイズ問題を作成し、問題を出しながらプレゼンテーションをすることができる。

生徒の反応



これからの日韓関係に
ついて考えさせられた

授業後、日本の生徒一人一人にインタビューを行い、自由研究に関する感想を述べてもらった。コメントは「アンケートを通して日本と韓国のこれからの関係について考えさせられた」「改めて韓国と日本の食文化は違うと思った。日本人として自分の国のことを知る機会でもあった」「最初は大変だったが先生に助けてもらってできた。韓国から見ている日本の姿が見られてすごくよかった」「アニメや映画の影響で普通ではない日本語が覚えられている感じがして不思議だった」「もっと深く調べればよかった。音楽は世界を、国を超えるから、もっと仲良くなるためにいろいろ聞けばよかった」など、調べた内容に関する発見、自分自身の調査方法に対する反省、評価が含まれていた。韓国語でのアンケート作成、集計作業は高校生にとってはハードルの高い作業であったに違いない。しかし、自分が知りたいと思ったテーマに基づき実施した調査であったためか、わからない韓国語だらけのアンケートが返ってきて、辞書や教師の助けを得ながら懸命に回答を理解しようという意欲的な姿勢が見られた。

また、発表会では他の生徒の調査結果の報告も聞くことができた。自分以外の発表を聞いて印象深かったものについて尋ねてみると特に「韓国人にとっての日本」に関する発表について「韓国の生徒たちは竹島問題について具体的な形でとらえていると思うし、日韓の間に生じたこと（植民地など）についてもよく学んでいるように感じた。それに比べ私たちは旅行や観光、メディアなどの面に関心が高く、いざ歴史的なことについて聞かれると答えられないことや、それについて知らない、あるいは学んだことがないということが多いと思った」のように日韓の歴史に関する知識の差を指摘するコメントが多く見られた。授業においてこうした社会的な問題について扱ったことはなかったが、日本の生徒の一人は韓国の生徒との交流活動を通じて、こうした問題に関心を持ち、自由研究のテーマに選択した。その調査結果を聞くことで他の日本の生徒も刺激を受け、日韓の歴史問題に意識を向けるようになったと言える。

日韓比較ミニコーナー

日韓の間に横たわる諸問題